



「知られざる
地下鉄の探検ツアー」
「潜入じゃー！」

東豊線の車両基地は、当初栄町に建設予定じゃったが、地盤や土地取得の問題などで建設できなくなった。じゃが、車両基地がなければ点検整備もできないため、当時、東西線車両の留置基地としていた二十四軒駅の西車両基地を使う案が浮上。しかし、東西線と東豊線をどうやって結ぶかなどの大きな問題が。それを担当職員の知恵や転てつ器（線路の進路を変えるポイント）の技術開発などで解決し、財政的にも大幅な削減に成功！当時の関係者の努力のたまものじゃな～。



出発じゃー！

ココは軽微な点検整備や車両を留置させる線路じゃ。タイヤ交換線と、床下機器の点検や信号試験装置のあるピット線に分かれ、全長350m、16両もの車両収容能力があるんじゃ。

栄町検車線



回送車に乗車

回送車は照明をつけずに走行

さっぽろ駅を過ぎたら、ん？東豊線の線路と離れて右にカーブしたぞ？なんと東西線西11丁目駅に到着！そう、これが東西線と東豊線を結ぶヒミツの連絡線なんじゃ。ホームの人は東豊線車両が来てビックリ？

さらに、西28丁目駅を過ぎて、またヒミツの線路へ。おお、ここが西車両基地か、広いのお～。3分の1の広さがあるから、職員への移動には自転車も利用しておるぞ。

西車両基地

この上を琴似川が流れておる

ここからクレーンで車両を搬入



タイヤは走行距離によって交換時期が決められているんじゃ

モーターつきのタイヤが一番前と一番後ろの車両についておるぞ



教習所
(動力車操縦者養成所)

実習用の車両模型。地下鉄駅、信号機、標識等もあり、本番さながらじゃ



運転手の気分♪運転手になるには国家試験の免許証取得が必要なんじゃ



知られざる引退車両と最新車両

地下鉄南北線では、最近、車両の世代交代が行われたんじゃ。「緑色の乗車位置の車両」で知られる3000形車両は、実に34年間走り続け、3月末で引退したんじゃ。寂しい話じゃが、乗車位置が1種類になったことでもホーム柵の設置類がこれらから進むんじゃが、最近工事がこれらから進むんじゃが、最近後継の5000形車両は、他の車両と製造している車両は、他の車両とガラスの色が違うんじゃと（プロンズ⇒グリーン）。今度じっくり観察せねばのお。



おお、6000形と8000形が繋がった実技用の模擬車両じゃな。車体がプラスチックでできておること、蛍光灯の位置が違うだけで、他は全て実車と同じなんじゃ。



交通局営業企画課

☎(896)2706

今月号の中央7ページでも、マルヤマンが春の動物園を紹介しておるから、参考にして出掛けてみてはいかがかな。さあ、地下鉄で春の中央区を満喫じゃー！

どうじゃな？地下鉄に興味湧いてきたじゃろ？SAPICA(アイシー乗車券)は、改札機にタッチするだけ。とてもスピーディーに通過できるんじゃ。地下鉄専用1日乗車券や土日・祝日用のドニチカキップ、地下鉄・市電・バス3社で使える共通ウィズユーカード、共通1DAYカードなど、どれもお得なので必要に応じて賢く使い分けるといいぞ。そうそう、共通ウィズユーカードと円山動物園の年間パスポートがセットになった「ウィズユーパスポート」が、4月23日(月)から発売(全年版31ページ参照)になるそうじゃ。



※バス3社：北海道中央バス、ジェイ・アール北海道バス、じょうてつバス